

(2-2) 総合講座（集団宿泊研修）

- 1) 人間開発学部生の必修科目であり、他学部生は履修することができない。
- 2) 学際的な性格をもつ科目であり、人間関係構築力、課題問題能力、表現活動能力の育成という人間力育成における基盤的能力開発を目的とする。
- 3) 開講学年は1年次、半期2単位の科目で、開講形態はサマーセッションとして、3泊4日程度の集団宿泊体験で実施する。

(3) 総合演習

- 1) 総合演習は、各学部・学科の専門教育科目の修得をふまえ、学部・学科をこえた学際的なテーマについて、より総合的かつ深く学ぶことを目的とする。
- 2) 総合演習、~~総合演習（教職）~~、~~総合演習（国際交流）~~の2科目があり、下記のとおり履修規程が異なるので注意すること。
注1) 総合演習は、2年次開講（ただし、人間開発学部生は3年次開講）とし、各学年1科目2単位まで履修でき、3科目6単位まで卒業単位に参入できる。ただし、テーマ・担当教員の異なるものに限る。
注2) 総合演習（国際交流）は、2年次開講とし（ただし、人間開発学部生は3年次開講）、同年度2科目まで履修でき、卒業単位としては2科目4単位まで参入できる。

コメント [AY1]: 削除

コメント [AY2]: ×3

(4) キャリアデザイン科目

- 1) 「生きること・働くこと」の意味、社会の変化と社会が求めている「人材」への理解、「自分発見」の重要性を学び、キャリア形成を考える際の問題提起をすることを目的とする。この科目は、学生が自由に選択して履修することができ、教養総合科目の卒業要件単位36単位以上のうちに算入することができる（人間開発学部はP82参照）。
- 2) 「キャリアデザイン」、「インターンシップⅠ（企業）（公務員）（教職）」、「インターンシップⅡ」の3科目があり、それぞれ下記のとおり履修規程が異なるので注意すること。
注1) キャリアデザインは、1年次開講とし、半期2単位とする。（ ）内が異なれば複数受講可となるが、同一内容・テーマは複数受講できない。
注2) インターンシップⅠは、半期2単位の科目とするが、4年次は受講できない。「インターンシップⅡ」は、現場で実習する講座であり、「インターンシップⅠ」を修得済または履修していることが条件となる。「インターンシップⅡ」（2・3年生開講科目で、1・4年生は受講不可）は受講にあたり、所定の手続きが必要となるので詳細は掲示等で確認すること。
※「インターンシップⅡ」は、年次別履修制限の単位外として扱われる。

4. 情報処理科目群

(1) コンピュータ技術演習

この科目は、コンピュータ活用技術を身に付けることを目的とする。コンピュータの「方法とスキル」を修得することにより、基本的素養を身につけ、情報活用能力を自ら発展させることができるようになるものである。

| 授業科目名 | 授業内容 | 備考 |
|------------|----------|----------------------|
| コンピュータ技術演習 | 活用入門 | 初心者向け入門授業 |
| | メディア発信 | プレゼンテーション、ホームページ作成 |
| | データ処理 | Excelを用いたデータ処理、グラフ作成 |
| | シミュレーション | プログラミング、理論の視覚化技術 |

- 1) 半期2単位の選択科目である。
注) 教員免許状取得に必要な「情報機器の操作」として充当することができる。教職希望者は必修。
- 2) 各自の希望により1年次から履修することができるが、「活用入門」以外の科目では、基礎的内容を授業時に行わないので、履修にあたっては注意すること。
- 3) 同年度に、2演習4単位を超えて履修することはできない。
- 4) コンピュータ教室では台数に限りがあるため、事前登録により受講者数制限を行う。
- 5) 経済学部では、専門教育科目として同内容の別科目が開講されているため、すべての「コンピュータ技術演習」科目を履修できない。